

イベントレポート

通常開園スタート・フクロテナガザルの赤ちゃん命名式(3月19日)

開園セレモニーでは、穂積市長のほか、高木美保名誉園長やネーミングライツ・パートナーの秋田銀行・新谷頭取にもご出席いただき、秋田銀行のキャラクター「こみみちゃん」が加わった新しいデザインの看板の紹介も行いました。

また、サル舎～天空の楽猿～で、2021年11月24日に生まれたフクロテナガザルの赤ちゃん「天(テン)」の命名式を行いました。



新しくなったネーミングライツ看板の前で



フクロテナガザルの赤ちゃん命名式

飼育の日イベント(4月17日)

4月19日の飼育の日に合わせ、普段は実施していない「ミニチュアホースの飼育体験」や「飼育員なりきり体験」などを行いました。

また、「飼育員の1日パネル展」では、飼育員の1日の仕事や、作業で使う7つ道具を紹介しました。



ミニチュアホースの飼育体験



飼育員なりきり体験

ゴールデンウィークイベント(4月29日～5月8日)

園内に設置している情報板「どうぶつ学ぼうど」の中からNo.1の作品を決める「学-1グランプリ～どうぶつ学ぼうどNo.1決定戦～」を開催しました。来園者による投票で1位に選ばれたのは、アムールトラについて紹介した作品でした。

このほか、「チンパンジーの秋田名物を食べ尽くせ!」や「ヒツジの毛刈り実演」などのイベントを開催しました。



1位に選ばれたアムールトラの学ぼうど



ヒツジの毛刈り実演

春の動物ふれあいフェスティバル(6月5日)



ウオーククイズ



チンパンジーのお宅を訪問!

園内9か所に設置したクイズに挑戦する「ウオーククイズ」や、動物を普段展示している屋外展示場を見学する「動物のお宅訪問」、ポニーやトナカイと写真を撮ることができる「動物との記念撮影」などを開催しました。

飼料作物スダックスの共同栽培(5月10日～7月12日)

今年も浜田小学校と栗田支援学校の3年生20名が参加し、5月に堆肥の散布、6月に種まき、7月に収穫作業を行いました。

初めは慣れない作業で恐る恐る刈り取っていた児童たちでしたが、次第に上手になり、気付けば運搬用の一輪車はいっぱいになっていました。その後すぐにゾウ舎へ運び、アフリカゾウのリリーにプレゼント。無事に給餌体験を終えると、満面の笑みを浮かべていました。



収穫作業



スダックスをリリーにプレゼント

第45回 親と子のふれあい写生大会(7月16日～8月7日)

園内での密集を避けるため、参加希望者に画用紙を配布して、自宅で作品の制作を行いました。提出された375点から、秋田市造形教育研究会による審査で42点が入賞し、上位入賞者には9月4日の表彰式で賞状と副賞を贈呈しました。市長賞など上位3賞へ贈呈されたオモリントロフィーは、今年も新屋ガラス工房の協力で制作されたものです。



市長賞

秋田大学教育文化学部附属小学校5年
大橋 つくる「ダイナミックまんまタイム」



秋田市教育長賞

秋田市立外旭川小学校1年
鈴木 武玄「いけめん」



秋田市議会議長賞

秋田県立秋田南高等学校・中等部1年
塚田 悠生「戦闘態勢」

第48回 サマースクール(7月26日、28日)



キリンへのエサやり



ワークショップ

参加した小・中学生28名は、獣舎の清掃やエサやりなど、動物の飼育作業を体験し、体験後は「みんなの描く未来の動物園」をテーマにグループワークを行いました。どの班も子どもらしい発想で未来の動物園を描き、班ごとの発表を興味深そうに聞いていました。

夜の動物園(8月11日～16日 ※13日を除く)

今年も動物たちの体調を考慮して13日をお休みとし、5日間の夜の動物園を開催しました。3年ぶりに「まんまタイム」などの動物イベントを行い、期間を通して約10,000人が来園しました。



ユキヒョウのリヒト



カピバラのまんまタイム

フタコブラクダ寄贈セレモニー(9月4日)

穂積市長のほか、高木美保名誉園長も出席し、ラクダ展示場で寄贈セレモニーを開催しました。導入経緯の紹介や、愛称の発表なども行いました。



愛称発表



高木名誉園長によるラクダへのエサやり

今後の
イベント
(予定)

11月27日(日)「さよなら感謝祭」

2023年1月7日(土)～2月26日(日)の土日祝日「雪の動物園」